

「宝が池の森」 保全再生 フォーラム



市民による「宝の森」づくり～里山の再生をめざして



送り火「妙法」を擁し、公園として親しまれている宝が池の森。京都の暮らしに寄り添い豊かな恵みを与えてくれる里山でした。近年は、シカの食害、豪雨や日照りの影響で著しく劣化し、倒木や土砂崩れなどのリスクも増してきています。景観、安全性、生物多様性を取り戻し安心してレクリエーションや学びの場として利用できる森づくりに向け、未来へ引き継ぐためのビジョンを共有し、行動へつなぐフォーラムです。

2022年 3月6日(日)

13:30～17:00(開場13:00)

左京区役所1階 大会議室

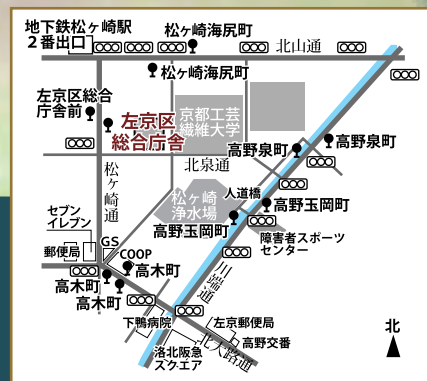
■対象 中学生以上 ■定員100名(多数抽選) ■参加費無料

* オンライン視聴あり(定員設定なし、要事前申込み、ZOOMを視聴いただく環境が必要)

* 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、オンラインのみの開催となる場合があります。

主催:「宝が池の森」保全再生協議会

公財)松ヶ崎立正会、公財)京都市都市緑化協会、京都宝の森をつくる会、公財)国立京都国際会館、深泥池水生生物研究会、宝が池生態系保全再生研究会
柴田昌三(京都大学大学院地球環境学堂)、長島啓子・福井亘(京都府立大学生命環境科学研究科)、高柳敦(京都大学大学院農学研究科)、鎌田磨人(徳島大学大学院社会産業理工学研究部)、田中和博・丹羽英之(京都先端科学大学バイオ環境デザイン学科)、森本幸裕(京都大学名誉教授)、齊藤準(京都工芸繊維大学応用生物学系)、京都市(順不同・敬称略)



- 京都市営地下鉄「松ヶ崎」駅から徒歩約8分
- 市バス「左京区総合庁舎前」から徒歩約3分、「高木町」から徒歩約9分

申込み「京都いつでもコール」 期間 2月8日(火)～22日(火)

TEL:(075)661-3755 (午前8時～午後9時)

FAX:(075)661-5855

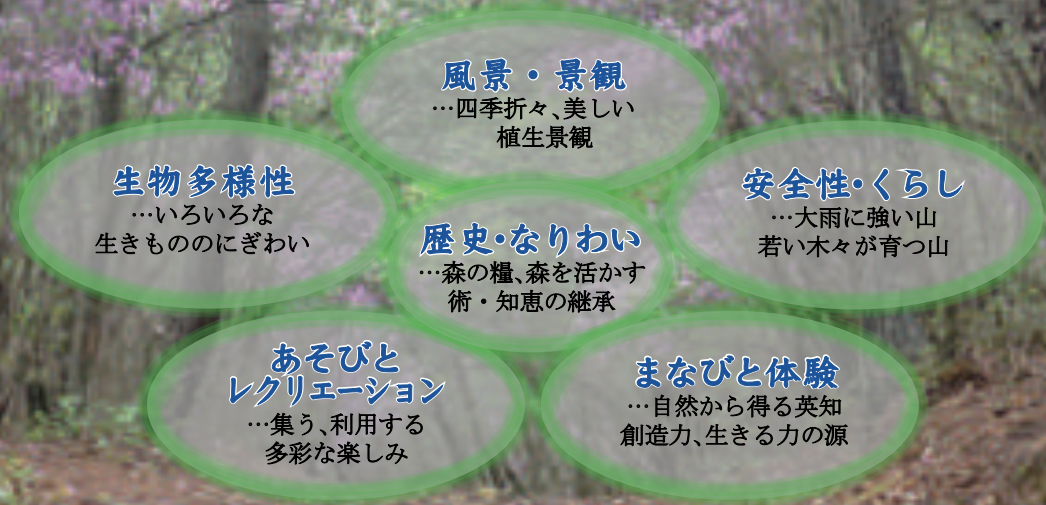
※お掛け間違いのないようご注意ください。

ホームページ <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

※申込み時に参加者(中学生以上)の氏名(ふりがな)、電話番号、郵便番号、住所、同伴者人数、参加方法(来場又はオンライン)をお伝えください。FAXの場合は、上記内容とイベント名「宝が池の森」保全再生フォーラムも明記してください。
※定員以上の参加申込があった場合は抽選となります。お申し込みをいただいた方全員に、2月28日(月)までに、郵送又は電子メールで結果をお知らせします。

地域に培われた文化、「妙法」の森をひきつぐ

くらしによりそう「市民の森」より豊かに、楽しく、安全に



趣旨説明/基調講演 13:35~
 「『宝が池の森』のこれまで・今・未来にむけて」
 柴田昌三(京都大学大学院地球環境学堂)

シカ食害

第2部 「宝が池の森」での取り組み紹介 14:40~

- ①「コバノミツバツツジトンネルを守ろうプロジェクト」 & 「五山の送り火法の字プロジェクト」
高柳 敦・公財) 松ヶ崎立正会
- ②「京都市の保全・再生・利活用の取り組みについて」
京都市 みどり政策推進室
- ③「市民による森の管理と利用」
京都宝の森をつくる会：代表 高谷淳
- ④「里山文化をひきつぐ『あそびと学びと森づくり』」
公財) 京都市都市緑化協会：野田奏栄

第1部 「宝が池の森」の現状 14:10~

- 「植生の特性と課題」
丹羽英之(京都先端科学大学バイオ環境デザイン学科)
- 「シカによる影響と対策の現状」
高柳 敦(京都大学大学院農学研究科)

倒木

第3部 「宝が池の森」のビジョン提案 16:10~
 ~森の再生と活用に向けて~
 「宝が池の森」保全再生協議会メンバー
 <提案と意見交換>

土壌浸食

「宝が池の森」でおこなわれているその他の取り組みについては、パネル等で紹介いたします。

